

徹底した移住者ケア

(1) 専従コーディネーターの配置

定住促進課内に → コーディネーター { 正職 2名(男女) を、配置
臨時 1名(女性)

- ・ 邑南町の移住案内は、相談対応を「接客・奉仕」と捉えている。
- ・ 相談員の中にはIターン者が居り、町の良さや相談者の要望が客観的にわかる。
- ・ 地元をよく知る経験豊富な女性職員も居り、複数男女での対応でレスポンスが向上
- ・ いろいろな希望・相談があるが、「ノー」と言わない接客を心掛けている。
- ・ 本人の希望と照らし合わせながら、住まいや仕事、ライフスタイルをパズルのように組み合わせていく。
- ・ 大事なのは定住率であり、移住者に気を配る。アフターフォローで大事なのは想像力感じる力だと思う。
- ・ 元気そうでも悩みを抱えている場合が多く、助けを必要とする方に何気なく近づいていく。
- ・ 皆様に感謝しながら、心かよう相談員となるよう心掛けている。

(2) 地域の協力者との連携

- ・ 地域ごとに移住希望者と地域との仲人的な役割を担ってもらう定住促進支援員を配置
- ・ 具体的には、空き家の紹介、持ち主との折衝、地域デビューの橋渡しや相談など
- ・ 成功報酬で、さくらカードポイント(10,000円相当)を付与。現在3名を任命

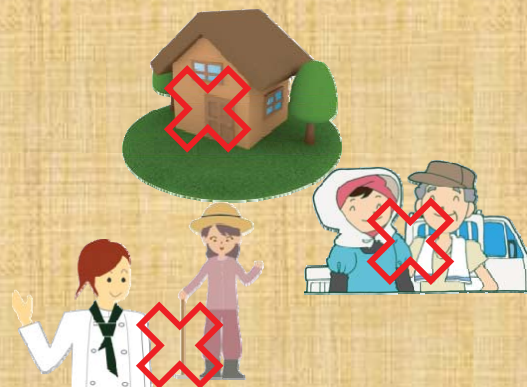
(3) 移住者ネットワークの構築

- ・ 移住者で構成する会を組織しており、50名くらいが参加する親睦会を年2回程度開催している。
- ・ その他、住居の距離や家族構成、年代などを考慮して、知り合いや友人ができるよう間を取り持っている。

徹底した移住者ケア 1

Uターン者の悩み

- ・移住したくても「**住むところが無い**」
- ・地域の「**しきたり**」になじめない
- ・相談相手がいなくて「**孤立**」する
- ・希望する「**就職先が無い**」など



Uターン者ケア

定住支援コーディネーター



定住促進支援員

人望が厚く地域の状況に精通している人

移住前・移住後のUターン者が地域になじめるように相談窓口

徹底した移住者ケア 2

定住者の声

空き家の利活用

「元は茅葺きの家だったのを
大家さんが改修されました。」
「間取りは4DKで家賃は月2
万5千円です。」

地元の方の好意

「好きなように畑を
使っていていいよ」



「最近野菜も米も
買ってない
なあ……」

「おせっかいを焼くのが 自分の仕事。」

困ったことはないかと話し
かけ、「愚痴を聞いて回る
こと」が大切

周囲の方の支え
がうれしいです

Uターン者は不慣れな土地
で戸惑うことが少なくない

自身もUターン者
「実体験を生かし、
移住者の立場に
立って」を心情に

定住支援コーディネーターの声